

株式会社オネスト

ナレーション<テロップなし>

医療・農業・建設など、社会を支える分野で自社製品を持つ株式会社オネスト。今ある製品だけでなく、IoTのさらなる活用にも取り組んでいる。

常に変わらぬベンチャー精神で、お客様に安心と感動をお届けするシステム会社として今日もチャレンジを続けている。

代表取締役

本間 大二郎

この会社の強みは？

「ITってなんなの？」って平たく言うと
アナログをデジタル化している訳ですよ
重要なことはアナログで
何ができるかってことが解ってないと
事業は起こせないですよ
だからそういう意味では
うちはその「ビジネス意欲」が強いです
ですから、アナログで何をしているかと
作業については手段だと思っているから
IT自体、手段だということについて
私は強く思っているの

働き方についての考えは？

IT業界って一番問題なのは
「時間」を売ろうとすることだと思います
それが変わることが重要で、何かというと
「価値」を売る会社になる
目先の働き方を変えるんじゃなくて、根本的な
会社としてのありようを変えることが「働き方改革」
だと思っています
つまり何かというと「時間」を売るんじゃなくて
「価値」を売ろうとみんなが思うということだと思います

社員たちに聞く

医療システム部

池永 瑞季

主な仕事内容は？

検査システムだったり、輸血管理システムの
開発をやっています

やりがいを感じる時は？

自分が作ったものに対して
こういうところが便利になったよ
やりやすくなったよと言ってもらえると嬉しいです

特徴的な取り組みは？

「宣言カード」というものがあるんですけど
これは「定時に帰ります」だったり
「7時に帰ります」「9時に帰ります」といった
カードを机上に掲げるような形で
ひとつ良いことはお休みの人とか外出の人も
ぱっと見ひと目でわかることがとてもいいです
あとは「9時」とか掲げている人は
忙しいということなので、声をかけて
忙しいですか？手伝うことはありますか？
と声をかけることもできますし
逆に自分も「大丈夫？」という風に
先輩から声をかけてもらえるので
とてもいいシステムだなと思っています

IoT 事業部

森本 透

主な仕事内容は？

我々がやっているのは主に施設園芸と言われる
ハウス栽培のハウスの環境を管理するというシステムで
始めた当初は生産者のところに行っても
「何これ？」「こんなの使うの？」「何で使うの？」とか
その意義がわからない生産者の方が
多かったのかなと思うんですけど

ここ1、2年は現場までこういう仕組みを使った方が
より効率の良い農業ができるというのが
浸透してきたのかなというのが感じられますね

この会社の強みは？

一番はゼロから仕事を自分たちで作っていくことができる
あとひとつは、我々基本的には
ソフトウェアの開発会社なんですけど
ハードも作れるぞというところがあるので
無ければハードも作っちゃえみたいな
そういう柔軟性は非常にあるかなと思います

一言インタビュー

会社の魅力は？

1人目

非常に休みがとりやすいところですかね
ちゃんと自分の業務を調整した上で話せば
いいよOK、OKというような感じで休みがとれるので
そういうところがすごくいいところかなと思っています

2人目

自分のプログラミングの業界
システム屋さんの業界だけではなく
いろんな病院さんですとか
いろんな人と話ができる、これは魅力ですね

3人目

一番は質問がしやすいというのがあります
皆さん技術力がすごい高い方が多いので
そこを見習って勉強していかなきゃなと思います

4人目

少しでも自分のしている仕事が
人の生命という部分に直接役に立っている
そういうところに魅力ややりがいを感じています

代表取締役

本間 大二郎

今後のビジョンは？

我々IT業界というもの自体が

何をIT化してきたかという

「役務」をIT化してきたんですよ、今まで

それが今度は「知恵」がIT化されるというのが

いわゆる「AI」だったり、そういう世界です

で何かというと、私たちもやっぱり

「知恵」をIT化する会社にならないとダメだと考えます

それが未来ということです